



暮らしの課題から発想する地域支援



今日、複雑・多様化する地域住民の生活課題を解決するためには、地域ケアプラザ各職種がそれぞれのチカラを発揮し、連携・協働し、解決に繋げる必要があります。

本研修は、これからの地域福祉援助に不可欠な「個別支援」と「地域支援」の統合的実践のために、必要な知識と実践手法を得ることを目的に実施します。

講師：第1回 神奈川県立保健福祉大学 准教授 中村 美安子氏
第2回 よこはま地域福祉研究センター センター長 佐塚 玲子

対象：次の機関に所属する職員で、このテーマに関心がある方
① 地域ケアプラザ（地域活動交流コーディネーター・社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師など）
② 社会福祉協議会

日程：第1回 平成26年 1月23日（木） 13:30～17:00
第2回 2月 7日（金） 13:00～17:00

場所：ウィリング横浜 11階 多目的室（京急・市営地下鉄上大岡駅直結 徒歩3分）

定員：40名

受講料：無料

締切：1月20日（月）必着

研修カリキュラム

第1回 >> 今日求められる、暮らしの課題から発想する地域支援とは？

1/23
(木)

13:30
～
17:00

講義

講師：神奈川県立保健福祉大学 准教授 中村 美安子氏

- ・ 地域の生活課題とは？
- ・ 人の暮らしから発想する、地域を基盤とした支援について

ワーク
ショップ

- ① 担当地域での暮らしの課題とそれに対応する地域支援について
- ② ①をおこなっていく上での課題について

講師プロフィール

神奈川県立保健福祉大学
准教授 中村美安子氏

社会福祉協議会職員、神奈川県立保健福祉大学助手、厚生労働省社会・援護局地域福祉専門官を経て平成21年4月より現職。厚生労働省では、「これからの地域福祉のあり方に関する研究会」、平成21年度創設の国庫補助事業「安心生活創造事業」の創設に関わった。専門は地域福祉。

第2回 >> 連携協働によって個を支えることができる地域をつくる ～地域ケアプラザ内の効果的4職種連携を探る～

2/7
(金)

13:00
～
17:00

講義

ワーク
ショップ

講師：よこはま地域福祉研究センター センター長 佐塚 玲子

- ・ ワーカーとして直面する「個別課題・地域課題」にどう向き合う？
- ・ 見捨てない！あきらめない！生活のしづらさを解消するソーシャルワークを探ろう！

実践
報告

報告：市内地域ケアプラザ 地域 Co& 包括職員の方々

地域交流と包括の連携、更に、市民や他機関との協働による「暮らしの課題から発想した地域支援」について、複数のケアプラザから報告します。地域を基盤とした生活課題解決のための他職種で関わるからこそその発想、協働のあり方を参考にしましょう。

参加申込書

この申込用紙にてFAXでお申込み下さい。 **Fax.045-228-9118** ※申込締切 平成26年1月20日(月)

所属職場

所在地

〒

TEL :

FAX :

(申込の方の)
E-mail

受講希望者氏名 (ふりがな)	職種・役職	性別	年齢	福祉職経験年数
		男 ・ 女	歳代	年 月
この講座に期待すること				現職経験年数
				年 月

※ここに記載された個人情報は、本事業以外の目的では使用しません。

【お問い合わせ】 事務局

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター (担当：吉川・佐塚)
〒231-0013 横浜市中区住吉町 2-17 金井ビル 201号
<http://www.yresearch-center.jp> 電話 045-228-9117 FAX 045-228-9118



特定非営利活動法人
**よこはま
地域福祉
研究センター**

Yokohama Community development Research center

主催：(研修実施主体) NPO法人よこはま地域福祉研究センター / (協働事務局) 横浜市健康福祉局地域支援課